

## 三田市民病院経営健全化計画

## 【 平成21年度 進行管理表 】

単位:百万円、%

項目	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	23年度 (目標)	24年度 (目標)	25年度 (目標)
医業収益	6,473	5,820	6,275	6,462	6,589	6,749	6,921
経常損益	△ 1,116	△ 1,016	△ 469	△ 336	△ 168	△ 57	60
経常収支比率	86.7%	86.7%	93.9%	95.6%	97.8%	99.3%	100.8%
職員給与费率	48.8%	56.5%	52.9%	51.5%	50.6%	49.5%	48.4%
病床利用率	68.6%	70.6%	78.0%	80.0%	82.0%	85.0%	88.0%

**‘医療水準の向上’、‘サービスの向上’、そして、‘私たちの明るい未来’のために、  
上記目標の達成に向け、今こそ、一丸となって共にかんばろう！！**

## ◆三田市民病院経営健全化「実施計画」進行管理シート

→基本は11月末の数値

大分類	取組項目(中分類)	取組項目(小分類)	取組・検討内容	実施計画		H21年度の目標		H21.11月末時点での状況		責任者	リーダー
				目標時期	最終目標係数等	「→」=検討・調整時期、 「◆」=実施時期、		実績値	備考		
						上期	下期				
1 収益確保	病床稼働率の向上		ベットコントロール体制の強化、院内業務の見直し、前方連携強化等により、目標稼働率のクリアを目指す。	毎年	88%	→	78%	74.3%	←12月末速報値	木西副院長	藤本課長 吉本補佐
	2 外来患者数の増		専門外来の充実、地域医療連携の強化による紹介患者の獲得、また、検査体制の見直し等により、当院での専門治療を必要とする外来患者数の増加を目指す。	毎年	700人	→	620人	634.8人	←12月末速報値	木西副院長	中村部長 小島課長
	3 医療収益単価の向上		急性期医療に関する加算、指導料等を積極的に取得する。また、診療情報管理士による分析管理の充実を図り単価向上を目指す。	毎年	入院-52千円以上 外来-10千円以上	→	◆	<医事速報値> 入-49,902円 外-9,290円	新たな施設基準等の取得による単価up	木西副院長	和田部長 下嶋課長
	4 医師業務負担の軽減		業務体制の見直し、医師事務補助員の活用、医療情報システムの改善等により、医師負担を軽減し、収益の確保を目指す。	H21.10	-	→	◆	一部実施済	Dr.ワーク・薬剤師当直・紹介状宛名書・退院ワークスなど	松田副院長	下嶋課長 石塚課長
5 費用削減	薬品費の削減		後発医薬品の切り換え促進による削減を目指す。	毎年	H20よりも △1億円	→	H20より △5千万円	約27,200千円 削減見込	H20～619,688千円 (税込)	村上局長	徳久薬剤長 上田副課長
	6 診療材料費等の削減		購入価格の低減方法の検討及び使用基準の見直し等により、削減を目指す。	毎年	H20よりも △5千万円	→	H20より △5千万円	約50,600千円 削減見込	H20～1,082,847千円 (税込)	村上局長	稲田次長 上田副課長
	7 時間外勤務の削減		職種別に業務体制、勤務形態の見直し等を行い、1人当たり年間時間の削減を目指す。	毎年	H20よりも △600万円/年 以上	→	◆	取組中		小西次長	稲田次長 藤本課長
	8 委託費の合理化による削減		委託業務内容等の精査により、より合理化を図る。また、平成23年度は、医療事務委託の契約更新時期であり、より精査を行う。	毎年	対前年 △1% 以上	→	△1%	約6,200千円 削減見込 (新規除く)	H20～554,906千円 (税込)	村上局長	松永技師長 上田副課長
9 人材確保	医師の確保		医師の処遇・労働環境の改善をはかるとともに、不足する診療科医師の招聘、確保を図る。 【腎臓内科・小児科・皮膚科・放射線科医師 等】	毎年	欠員医師の補充	→	◆	招聘中		佐野管理者	辻理事
	10 看護師の確保		急性期医療の診療体制に対応できるように、常時看護師の確保を行うとともに、出産後等でも、再度働きやすい環境の提供に努める。【看護師確保チームの創設等】	毎年	欠員看護師の補充	→	◆	活動中		吉田部長	小西次長 荒木次長
	11 女性職員が働きやすい環境の整備		女性職員が働き続けることが可能なよう、病後児保育等に対応できる制度等の検討を図る。	H22.4	制度の検討と実施	◆	→	一部実施済 その他検討中	H22年度より院内保育所 建設予定	吉田部長	小西次長 荒木次長
	12 外部からの人材確保		専門的分野において、外部から実務経験を有する人材を登用し、病院全体の能力向上を図る。 【診療情報管理士・システムエンジニア 等】	H23.4 までに雇用	専門的分野 の人材確保	◆	→	一部実施済 その他検討中	診療情報管理士は採用 済・システムエンジニアは募集中	辻理事	村上局長
13 研修強化	医師研修体制の強化		研修医や若手医師の教育プログラムを充実させ、研修医の増加及び医師のスキルアップを図る。また、指導医の確保や養成についても強化する。	毎年	研修体制の強化	→	◆	一部実施済		松田副院長	藤原部長 上本補佐
	14 看護師研修体制の強化		看護師の教育システムの充実を図ると共に、認定・専門看護師の取得をバックアップし、学会・研修会参加への支援を図る。	毎年	研修体制の強化	→	◆	一部実施済		吉田部長	高橋課長 小東係長
	15 その他職員研修体制の強化		コメディカル・事務員についても、研修会等への参加機会を増やし、専門的能力の取得や、スキルアップを図る。また、「院内全体研修」を積極的に実施する。	毎年	研修体制の強化	→	◆	一部実施済		小西次長	小東係長
16 実施体制	地方公営企業法の全部適用へ移行		病院事業の経営の効率性・自主性・機動性を高めるため、経営形態を地方公営企業法の全部適用へ移行する。また、事業管理者を設置する。	H21.7	全部適用への移行	◆		実施済		済	済
	17 業務実行部門の改革		各部門の責任と権限を明確化し、業務遂行上の指揮命令系統を一元化する。各部門別行動計画の明確化と「部門別損益管理制度」の構築を図る。	H21.10	部門別管理 制度の構築	→	◆	実施済		村上局長	喜多係長
	18 人事評価制度の検討		職員の努力結果が、報酬等に反映される制度の検討を図る。	H23.4	検討	→		検討中		村上局長	小西次長
	19 院内提案制度の導入		現場からの改善提案を募集し、取組効果があった場合は、表彰する制度を導入する。	H21.4	提案制度の 実施	◆		制定済		小西次長	喜多係長
	20 医療情報システムの充実		電子カルテを含む、より高度で、精度の高い基幹情報システムの導入の検討と再構築を図る。	H24.4	システムの 再構築	→		検討中		橋本部長	岸本副課長
	21 医療の質向上と患者サービスの向上		業務体制の再確認を常に行い、サービスの充実と質向上に努める。また、平成22年度内に、病院機能評価の再取得を図る。	毎年	-	→	◆	検討中		松田副院長	吉田部長 小西次長
	22 市民への情報提供の充実		定期的な「市民講座」の開催や、広報紙への掲載を図り、より市民への理解を求めると共に、広く市民の要望等を取り入れる。	毎年	-	→	◆	一部実施済		辻理事	上本補佐
	23 地域医療連携の強化		現在の地域医療連携室の機能をより充実させると共に、特に前方連携体制の更なる強化、医師会、市・県等との外部組織との交流の強化を図る。	毎年	地域医療連携 体制の強化	→	◆	活動中		木西副院長	吉本補佐
	24 外部管理委員会の設置と評価等の実施		当該計画の進行管理を含む、病院の経営状況等を外部の専門家に評価いただくことにより、当院の永続的良質な医療の提供を図る。	毎年	毎年 評価	→	◆	実施済	第1回-1/28開催済	辻理事	喜多係長

※「総括責任者」～管理者・院長、「総括管理者」～理事、「進行管理事務」～経営企画担当